

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
生徒は日常の授業に一生懸命参加するが、取り組みは受動的な様子がある。体力テストの結果は全国平均と比較してほぼ同様の数値である。	若干男女ともに筋力が弱い傾向にある。そのため、力の負荷の大きい運動で敏しょうに運動することを心がけていく必要がある。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	自ら考え、学び合うことができているが、運動が苦手な生徒がどのように取り組んでいくかが課題となる。	教師側の補助の工夫。生徒同士の学び合いの場の設定。運動量の確保。場所の活用の仕方の工夫。
2年生	授業規律の徹底を図る必要がある。その後、運動量と言語活動の活発化を図っていく必要がある。	グループ学習に取り組む。生徒主体の活動の場の設定を更に図る。学習カードの作成の工夫。
3年生	自ら考えて、学ぶ姿勢がある。運動量の充実、言語活動の活発化が課題となる。	学習カードの工夫。3年間の指導計画の確立。

●学校全体で取り組む内容

<p>・課題解決的な学習方法を展開し、生徒が自ら課題を設定し解決できるように、生徒自身の思考・判断力を高める取り組みをする。(例)学習カードの工夫 準備運動の工夫。授業で発表できる場の設定(言語活動の充実)</p>
